

洲本市

第7期洲本市障害福祉計画

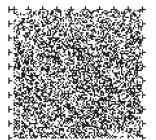
第3期洲本市障害児福祉計画

概要版

令和6年(2024年)3月



このマークは、目が不自由な人などが使う音声コードです。活字読上げ装置で読み取らせると、音声で読み上げます。コードの位置が触れて分かるように切り込みを入れています。



# この計画について

## 第7期洲本市障害福祉計画とは

- 障害者総合支援法の第88条に基づく「市町村障害福祉計画」です。
- 障害福祉サービスや相談支援、地域生活支援事業等の提供体制の確保に係る目標や見込量を規定します。
- 計画期間は令和6年度から令和8年度までの3年間です。

## 第3期洲本市障害児福祉計画とは

- 児童福祉法の第33条の20に基づく「市町村障害児福祉計画」です。
- 障害児通所支援や障害児相談支援等の提供体制の確保に係る目標や見込量を規定します。
- 計画期間は令和6年度から令和8年度までの3年間です。



## 基本理念

この計画は、令和3年3月に策定しました第3次洲本市障害者基本計画を上位計画として、障害福祉サービスや障害児通所支援等の円滑な提供を図る実行計画であることから、上位計画の基本理念である「自分らしく安心して暮らせる地域を ともにつくる まちづくり」を前提に、障害福祉サービス等の量的・質的な充実に向けて取り組むものです。

### 対応する言葉

意思決定支援

自分らしく

障害のある人が、自分らしく生き生きと暮らすための意思決定を支える地域社会の実現

自己選択  
自己決定

安心して  
暮らせる地域

障害のある人が住み慣れた地域で、自らの生き方を主体的に選択し、決定できる地域社会の実現

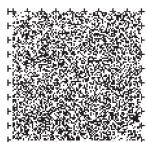
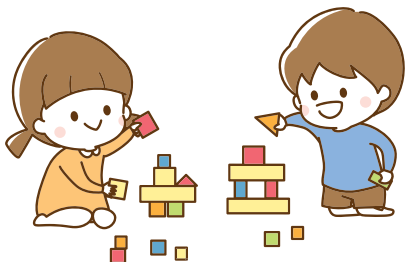
共生

ともにつくる  
まちづくり

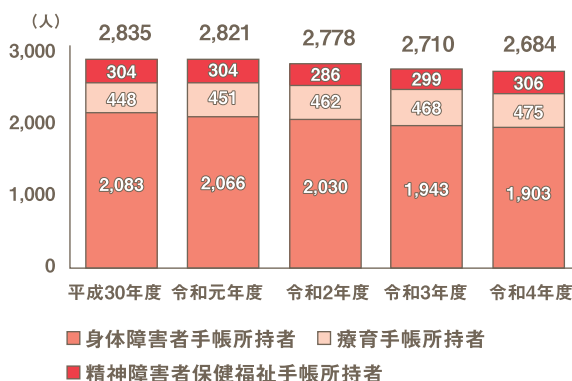
障害のある人が地域の一員として共に暮らし続けるなかで、“つながり”や“ふれあい”等を通じてともにつくる地域社会の実現

## 障害のある人の状況

身体障害がある人は減少傾向ですが、知的障害、精神障害がある人は増加傾向にあります。



### 【洲本市の手帳所持者数の推移】





# 計画の目標

## ① 福祉施設の入所者の地域生活への移行

項目	令和8年度の目標
地域移行者数(累計値)	4人
施設入所者数	67人

## ② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

保健・医療・福祉関係者による協議の場を年1回開催し、支援体制や状況について目標の設定と評価を行います。

## ③ 地域生活支援の充実

地域生活支援拠点等	コーディネーターの配置や緊急時の連絡体制を構築し、運用状況について、検証・検討を年2回実施します。
強度行動障害を有する人への支援	支援ニーズの把握と支援体制を整備します。

## ④ 福祉施設から一般就労への移行等

項目		令和8年度の目標	
一般就労への移行者数 (累計値)	うち就労移行支援の利用者数	3人	合計 7人
	うち就労継続支援A型の利用者数	1人	
	うち就労継続支援B型の利用者数	3人	
一般就労へ移行した者の割合が5割以上の就労移行支援事業所の割合		5割以上(1事業所)	
就労定着支援事業所の利用者数		7人	
就労定着率が7割以上の就労定着支援事業所の割合		25%以上(1事業所)	

## ⑤ 発達障害者等に対する支援

項目	令和8年度の目標
ペアレントトレーニングやペアレントプログラム等の支援プログラム等	受講者数・実施者数:各2人
ペアレントメンターの人数	5人
ピアサポート活動への参加人数	5人

## ⑥ 障害児支援の提供体制の整備

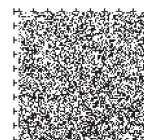
項目	令和8年度の目標
児童発達支援センターの設置	設置
障害のある児童の地域社会への参加・包容(インクルージョン)を推進する体制	実施
重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所	各1箇所
保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関等が連携を図るための協議の場の設置	設置
医療的ケア児等に関するコーディネーターの配置数	1人

## ⑦ 相談支援体制の充実・強化等

基幹相談支援センターによる地域の相談支援体制の強化	地域の相談支援事業所へ、専門的指導や人材育成の支援、連携強化の取組を行います。個別事例の支援内容の検証を実施します。
協議会における地域のサービス基盤の開発・改善等を行う体制の確保	個別事例の検討や協議会の専門部会を実施します。

## ⑧ 障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築

兵庫県が実施する障害福祉サービス等に係る研修へ市職員が参加します。障害者自立支援審査支払システム等での審査結果や、事業者指導監査結果を共有します。





# 各種サービス等の見込み

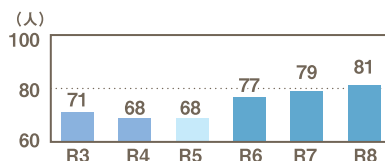
## 障害福祉サービスの見込み

R3・R4は実績値、R5は実績見込値、R6～R8は見込値



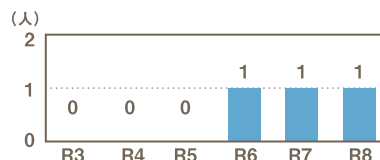
### ●居宅介護(ホームヘルプ)

ホームヘルパーが自宅を訪問し、家事並びに生活等に関する相談及び助言、その他の生活全般にわたるサービスを行います。



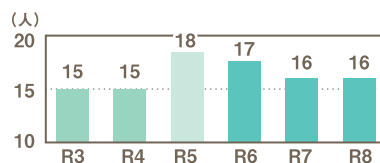
### ●重度訪問介護

重度の常時介護を必要とする人に、自宅で家事や外出時の介護等の総合的な介護・支援を行います。



### ●同行援護

視覚障害により、移動が困難な人に、外出の同行及び外出時に必要となる排泄・食事等の援護、その他必要な支援を行います。



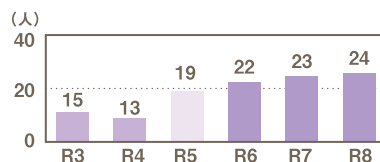
### ●行動援護

知的障害又は精神障害により、行動上著しい困難があり、常時介護を要する人に行動に必要な援護、外出支援を行います。



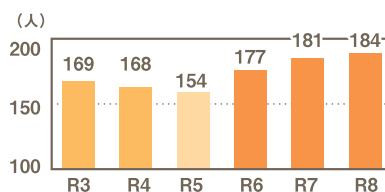
### ●短期入所(ショートステイ)

短期間、夜間も含めて障害者支援施設等で入浴、排泄及び食事の介護等が受けられるサービスです。



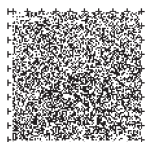
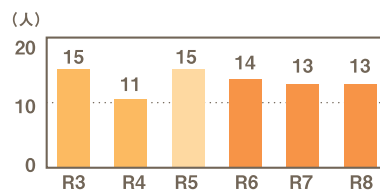
### ●生活介護

常に介護を必要とする人に、主に日中に障害者支援施設等での介護を提供するとともに、創作的活動又は生産活動の機会等を提供するサービスです。



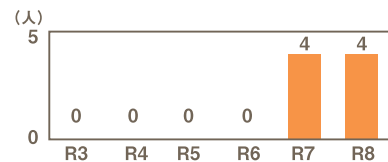
### ●自立訓練(生活訓練)

自立した日常生活や社会生活等ができるよう、一定の期間、食事や家事等の日常生活能力の向上のための訓練、日常生活上の支援等が受けられるサービスです。



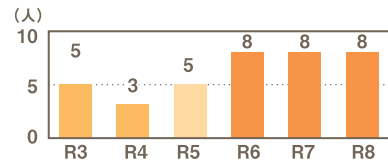
### ●就労選択支援【新規サービス】

就労先・働き方についてより良い選択ができるよう、就労アセスメントの手法を活用して、本人の希望、就労能力や適性等に合った選択を支援します。



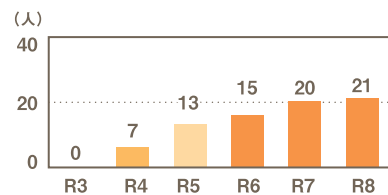
### ●就労移行支援

一般就労を希望している人に、知識・能力の向上、実習、職場探しなど、作業訓練や職場実習、就職後の職場定着支援等を行います。



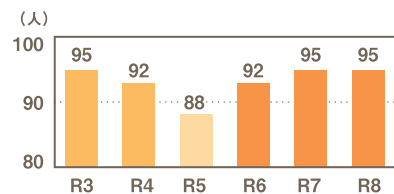
### ●就労継続支援A型

一般企業等での就労が困難な人に、通所により雇用契約に基づく就労の機会を提供するとともに、一般就労への移行に向けた支援を行います。



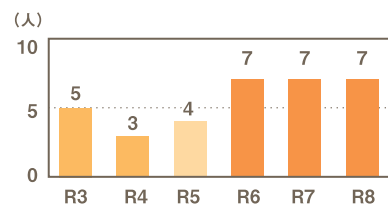
### ●就労継続支援B型

一般企業等での就労が困難な人に、通所により就労や生産活動等の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識や能力等が高まった人に対しては一般就労への移行に向けた支援を行います。



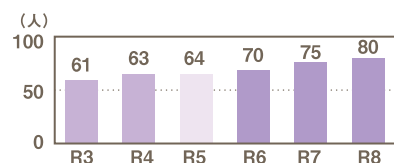
### ●就労定着支援

就労移行支援等の利用を経て一般就労へ移行した障害者で、就労に伴う環境変化により生活面の課題が生じている者に対して、障害者との相談を通じて生活面の課題を把握するとともに、企業や関係者等との連絡調整やそれに伴う課題解決に向けて必要となる支援等を行うサービスです。



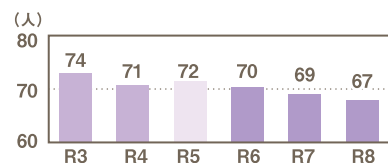
### ●共同生活援助(グループホーム)

共同生活を行う住居で、入浴、排泄及び食事等の介護や日常生活上等の援助を行います。



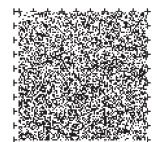
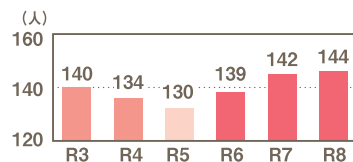
### ●施設入所支援

施設に入所する障害者に、主として夜間において、入浴、排泄及び食事等の介護を行います。



### ●計画相談支援

相談支援専門員が障害福祉サービスを利用する人の、サービスの利用に関する意向等を聞きながら、サービス等利用計画を作成します。



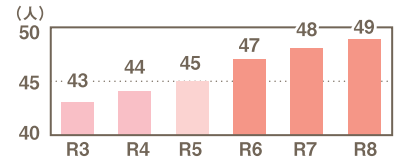


## 障害児支援サービスの見込み

R3・R4は実績値、R5は実績見込値、R6～R8は見込値

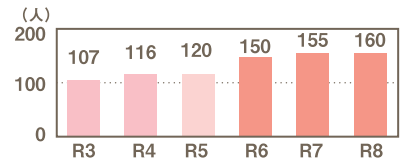
### ●児童発達支援

日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等の支援を行います。



### ●放課後等デイサービス

学校の授業終了後や夏休み等に、生活能力向上のために必要な訓練や社会との交流の促進等の支援を行います。



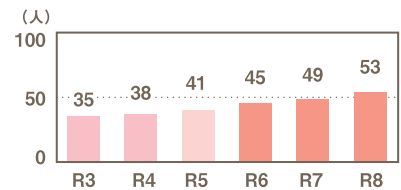
### ●保育所等訪問支援

保育所、その他の児童が集団生活を営む施設等に通う障害児について、療育の専門スタッフが保育所等を訪問し、集団生活への適応のための専門的な支援等を行うサービスです。



### ●障害児相談支援

障害児通所支援を利用する障害児について、心身の状態、置かれている環境、サービスの利用に関する意向等を聞きながら、障害児支援利用計画を作成するものです。



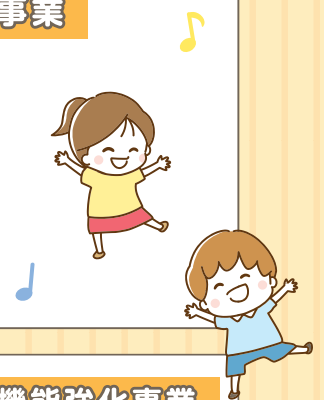
## 地域生活支援事業

### ●意思疎通支援事業

聴覚、言語機能、音声機能その他の障害のため、意思疎通を図ることに支障がある障害者に、手話通訳等の方法により、障害者とその他の者の意思疎通を支援する手話通訳者等の派遣等を行い、意思疎通の円滑化を図る事業です。

### ●手話奉仕員養成研修事業

聴覚障害者との交流活動の促進や支援者として期待される日常会話程度の手話表現技術を習得した手話奉仕員等を養成する事業です。

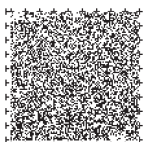


### ●移動支援事業

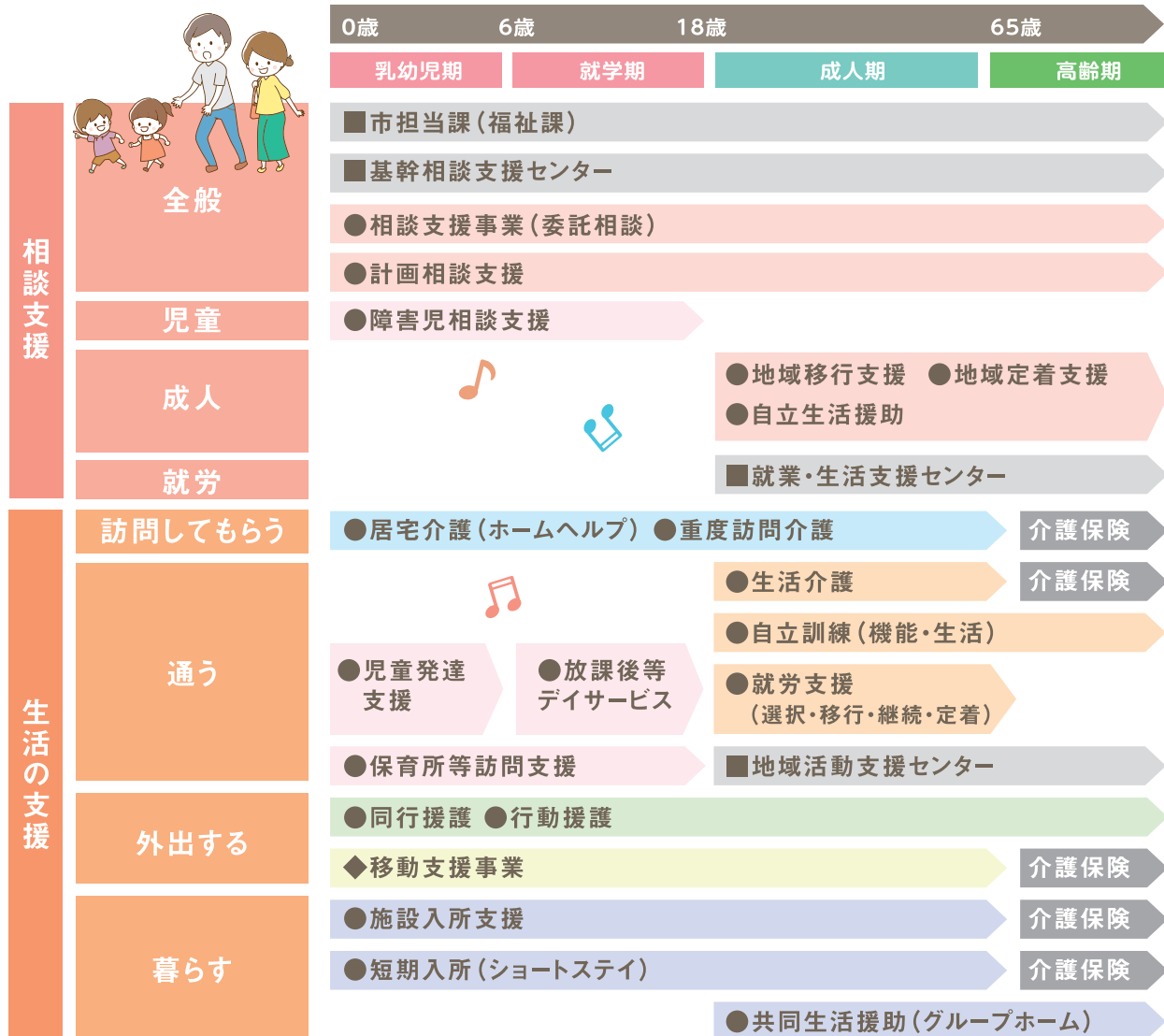
一人で外出するのが困難な障害者の余暇活動等の社会参加のために、ガイドヘルパーが移動の支援を行う事業です。

### ●地域活動支援センター機能強化事業

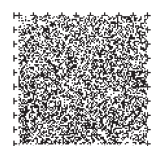
障害者の地域生活支援の促進を図ることを目的に、地域活動支援センターにおいて、障害者に対する創作的活動や生産活動等の機会の提供などを行う事業です。



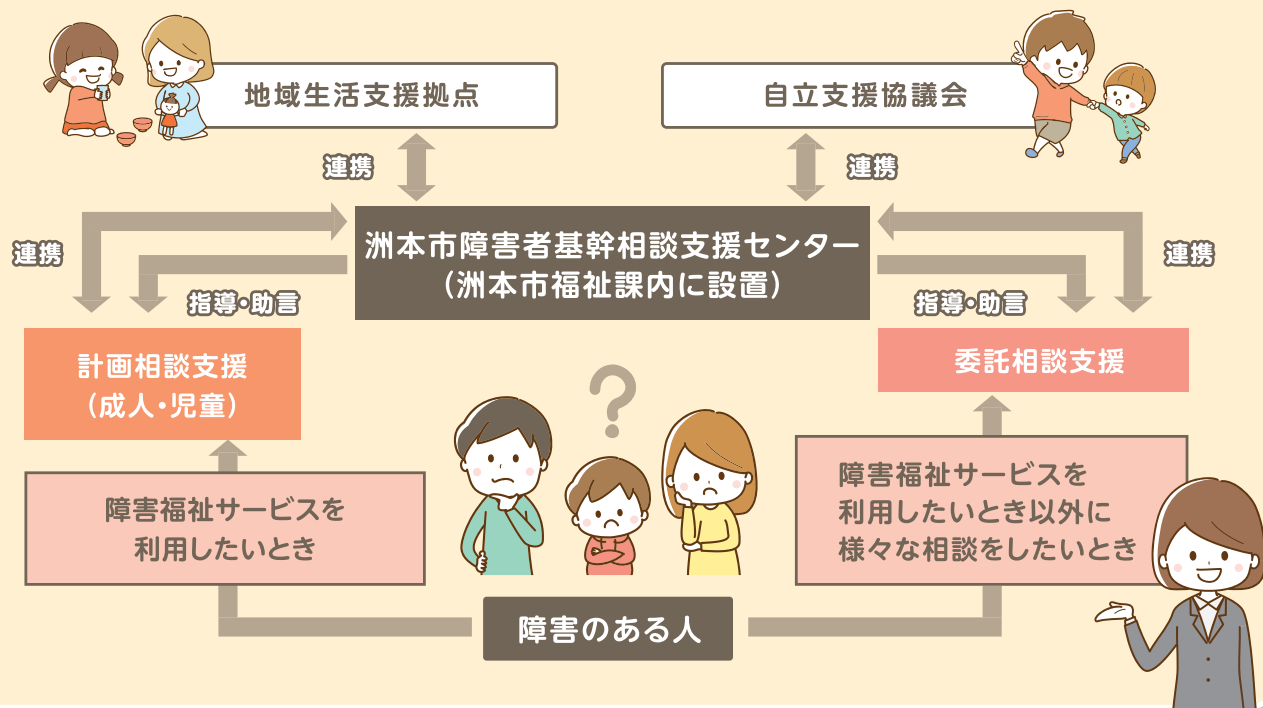
# ライフステージごとの障害福祉サービス等



## 障害のある人を生涯にわたって支援



# 洲本市の相談支援体制



## 相談機関一覧

相談機関の名称	連絡先	所在地	計画相談支援		委託相談支援
			成人	児童	
淡路障害者生活支援センター	0799-26-0525	洲本市上加茂7	○	○	○
淡路聴覚障害者相談支援事業所	090-6208-0942	洲本市中川原町中川原222-2	○	○	—
五色精光園相談支援事業所	0799-38-6181	洲本市下加茂1-6-6	○	○	○
在宅介護支援センター 五色園	0799-34-0550	洲本市五色町鳥飼浦2277-3	○	—	—
身体障害者生活支援センター フローラすもと	0799-22-5448	洲本市鮎屋636	○	○	○
洲本市社会福祉協議会 相談支援事業所	0799-26-0022	洲本市山手2-2-26 洲本市総合福祉会館内	○	○	○
相談支援事業所Cocon	080-4642-4803	洲本市宇原2282	○	○	—
みんないっしょ	0799-24-5035	洲本市納231-8	○	○	—
相談支援事業所ぶったあ	0799-70-6145	淡路市岩屋488-1	○	○	—
街かどステーション でいーふらっぶ相談支援事業所	0799-43-3011	南あわじ市八木養宜上446-1	○	○	—
洲本市障害者基幹相談支援センター	0799-22-3332	洲本市本町3-4-10 洲本市福祉課内	—	—	—

【第7期洲本市障害福祉計画・第3期洲本市障害児福祉計画】

発行年月:令和6年3月 発行:洲本市 健康福祉部 福祉課

〒656-8686 兵庫県洲本市本町三丁目4番10号  
TEL:0799-22-3321(代表) FAX:0799-22-1690

